

ジョルダン ビジネスレポート

2023.10.1 ▶▶ 2024.9.30



JORUDAN

収益性の高い事業に注力、MaaS事業の拡大を推進し 移動に関する社会課題の解決を目指します

新規事業拡大に向け初期投資が増加したものの最終損益は改善

2024年9月期の連結業績は、売上高ではソフトウェア事業で増加したものの、乗換案内事業の有料サービスおよびハードウェア事業で減少したことから、全体として前期比で微減となりました。利益面では、新たな事業領域の開拓に向けて、外注費やハードウェア導入費、研究開発費などが増加したため、営業損失を計上しました。初期導入で費用がかかったところがあり、事業が拡大していけば、原価率は下がっていくと見ています。特別損益では、減損損失が大きく減少するとともに、子会社株式売却益が生じたことで、親会社株主に帰属する当期純損益は前期に比べて改善しています。

利便性のさらなる向上に向けて「乗換案内」の機能を強化

現在、「乗換案内」は月間検索回数が約2億4,000万回に達し、移動のツールとして多くの方々にご利用いただいています。一方で有料会員の増加が課題であり、機能の強化とサービスの拡充に努めているところです。

また、マルチモーダル化を積極的に推進しています。従来の電車やバス、飛行機などの交通機関に加えて、経路検索時にカーシェアリングやレンタカー、オンデマンドバスなども案内できるようにし、移動の選択肢の多様化を図っています。さらに、全国の公共交通機関各社との連携を通じて、検索画面から指定席の予約画面へスムーズに遷移できるように進めています。JR東海、JR東日本、JR西日本、JR九州の新幹線等の予約が可能になり、最近では小田急ロマンスカーが経路検索画面から予約できるようになりました。

モバイルチケットは種類を増やしつつ、より収益性の高いチケットを販売する方向に転換しています。その一つがモバイル定期券で、いすみ鉄道でサービスを開始しました。

日本初となる顔認証乗車システムの本格運用を開始

当社におけるもう一つの挑戦が、千葉県ユーカリが丘ニュータウンの新交通システム山万ユーカリが丘線とコミュニティバスでの顔認証乗車システム「ユーカリPASS」の本格運用です。顔認証は注目の技術ですが、改札を通過するスピードに顔認証が追いつかないという課題がありました。2021年以降、当社は山万株式会社と共同で顔認証時に乗車口や改札で立ち止まらず乗車できる方法について実証実験を進め、今年6月、日本で初めて本格導入となりました。

今後は顔認証乗車システムの本格運用で得られた経験をもとに、顔認証とスマートキーの連動やデータの活用に力を入れていきたいと思っています。そのため、1年ほど前からデータセンターの設備増強を進めています。現在は、関西電力系列のデータセンターを利用しています。

だれもが自由に移動できる社会の実現をめざして

2021年から、MaaS（ITを活用した交通サービス）の一環として、行政機関や民間事業者と連携し、静岡県熱海市で交通空白地域の解消に向けて実証実験を行っています。現在はミニバスの試験運行を実施しており、今後に向けてエリア拡大、実用化に向けた調整が進んでいます。

今、熱海だけでなく、全国の交通の不便な地域でどうやって輸送していくかということが大きな問題になっています。当社は「乗換案内」を運営し、バスの時刻表を持っていますので、バスと連絡するようなローカルな相乗りをいろいろ増やそうと、熱海以外の場所でも動いているところです。

また、以前からスマートシティモードとして西新宿で様々な実証実験を行ってきました。今年は新たにバリアフリー対応の「ユニバーサルルート」機能を追加し、車椅子やベビーカーでの移動に最適なルートを案内できるようになりました。

引き続き、全国の地方自治体、各地域を支える事業者と提携、協業し、移動に関する社会課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表ダイジェスト

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 2023年9月30日	当連結会計年度 2024年9月30日
資産の部		
流動資産	4,134,357	3,776,704
固定資産	1,570,342	1,519,748
資産合計	5,704,699	5,296,453
負債の部		
流動負債	992,865	849,642
固定負債	51,516	24,024
負債合計	1,044,381	873,667
純資産の部		
純資産合計	4,660,318	4,422,786
負債・純資産合計	5,704,699	5,296,453

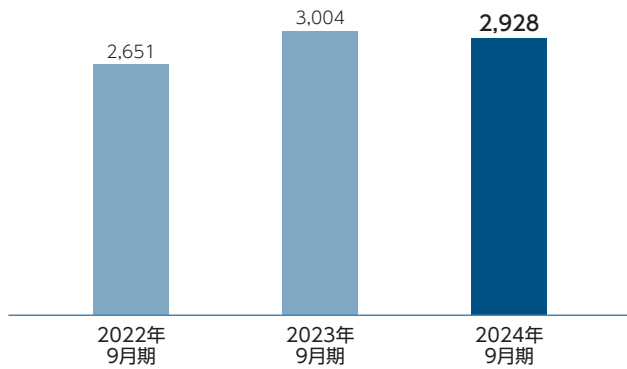
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2022年10月1日 至 2023年9月30日	当連結会計年度 自 2023年10月1日 至 2024年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	158,489	29,363
投資活動による キャッシュ・フロー	△430,405	△164,877
財務活動による キャッシュ・フロー	△110,433	△107,039
現金及び現金同等物の 期末残高	3,271,817	2,967,251

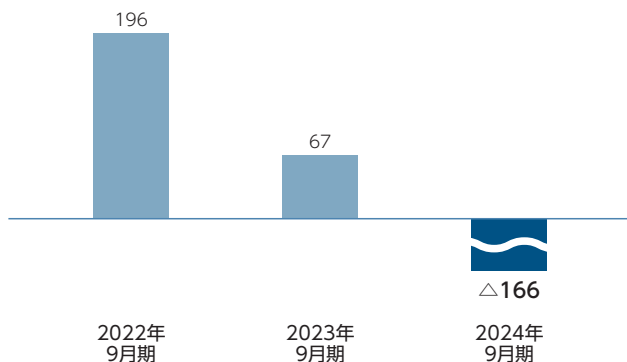
売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2022年10月1日 至 2023年9月30日	当連結会計年度 自 2023年10月1日 至 2024年9月30日
売上高	3,004,958	2,928,239
売上原価	1,683,006	1,748,689
売上総利益	1,321,951	1,179,549
販売費及び一般管理費	1,321,820	1,369,222
営業利益又は営業損失(△)	131	△189,672
営業外収益	78,507	97,268
営業外費用	11,211	73,904
経常利益又は経常損失(△)	67,426	△166,309
特別利益	70,687	121,013
特別損失	276,565	8,368
税金等調整前当期純損失(△)	△138,450	△53,665
法人税等合計	59,394	65,331
当期純損失(△)	△197,845	△118,996
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△1,988	△457
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△195,857	△118,539

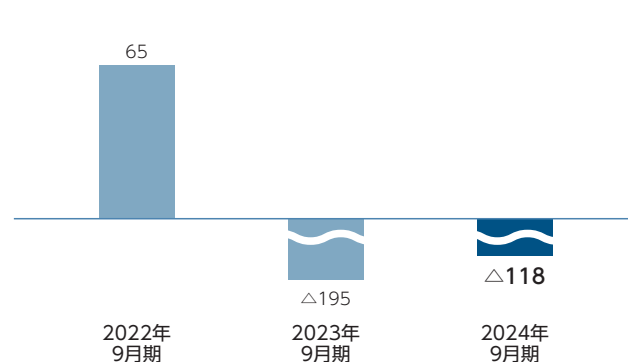
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



「乗換案内」でJR東海、JR西日本のネット予約サービスとの連携開始

6月26日より、「乗換案内」とJR西日本が提供するインターネット予約サイト「e5489（いいごよやく）」との連携を開始しました。「乗換案内」でJR西日本管内の新幹線・特急、JR四国管内の特急を含むルートを検索すると、「新幹線・特急予約」ボタンが表示され、乗車区間や日時を保持したまま「e5489」に遷移して、簡単かつ迅速に新幹線・特急列車のきっぷの予約・購入ができます。昨年10月からは、JR東海が提供する新幹線のネット予約&チケットレスサービス「エクスプレス予約」「スマートEX」との連携も始まり、経路検索画面から東海道・山陽・九州新幹線のきっぷをシームレスに予約・購入可能です。スムーズな「経路検索→きっぷ購入→乗車」を推進し、出張や観光、帰省などの公共交通移動をより快適にサポートします。



MaaS対応 新・経路検索アプリ「乗換案内 version 6」を提供開始

2008年にサービス提供を開始したスマートフォン向けアプリ「乗換案内」を今年、大幅にアップデートし、「乗換案内 version 6」として提供を開始しました。次世代の移動情報検索プラットフォームとして、公共交通機関の経路検索機能にとどまらず、お出かけ先の情報を調べることから、トータル・マルチモーダル経路検索（※1）、予約・発券・配車まで、「移動」に関するすべてを網羅しています。また、「乗換案内」で集積した経路データを当社のMaaSプラットフォーム「MaaS」と連携させた新たなサービスの提供も予定しています。



※1 トータル・マルチモーダル経路検索：出発地から目的地までの様々な移動手段を掛け合わせた経路検索

「AI音声入力 乗換案内」を北九州高専との共同研究にて提供

「木曜13時までには東京都庁へ」など、日常会話に近い音声入力で経路検索が簡単に行える「AI音声入力 乗換案内」の提供を開始しました。この「AI音声入力 乗換案内」は、北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科知能ロボットシステムコースの久池井茂研究室との共同研究事業として開発しました。日本語自然言語処理ライブラリであるGiNZAライブラリとジョルダンの駅名地名辞書を組み合わせることにより、実用性の高い経路検索に特化した日本語自然言語解析処理を可能にしています。これにより、「明日10時に東京から大阪まで新幹線で」「東京から奈良を経由して大阪まで」「八王子までの終電」といった日時や利用する交通手段まで一度に音声入力できます。

沖縄のゆいレールでデジタル乗車券の販売を開始

沖縄都市モノレール株式会社、日本信号株式会社、株式会社琉球銀行と協業し、6月12日より、ゆいレールのデジタル乗車券の販売を開始しました。今までのデジタルチケットは、交通系ICカードのアプリがインストールされたスマートフォンでは、交通系アプリが先に反応してしまうことがありました。今回、当社が提供したデジタル乗車券は、交通系アプリが先に反応することなく、日本信号の自動改札機を通過できます。駅員の負担を減らすだけでなく、利用者の利便性を向上し、便利で快適な移動を支援します。



八重山観光MaaS推進事業の周遊フリーパス販売が実証実験から自走化へ

7月11日より、「石垣島バス周遊フリーパス」「石垣・西表（いりおもて）周遊フリーパス」のモバイルチケット販売を開始しました。これまで八重山圏域の公共交通を利用した観光の促進と離島地域の活性化、持続可能な観光地域づくりを実現することを目的に、実証実験として期間限定でフリーパスチケットを販売してきました（※2）。その結果を踏まえ、自走化したサービスとして提供していくことになりました。これからも交通機関の拡充や幅広い観光アクティビティとの連携を推進し、八重山圏域の活性化に向けてキャッシュレスで離島の旅を楽しめる魅力的なチケットの提供を目指していきます。



※2 令和4年度 沖縄地域MaaS導入推進調査事業（内閣府沖縄総合事務局）、令和5年度 地域新MaaS創出推進事業：八重山観光MaaS推進事業（経済産業省・沖縄総合事務局）の一環

通学定期乗車券の販売も開始 多彩なモバイルチケットを販売

スマートフォンで買ってそのまま使えるモバイルチケットは、日本各地の鉄道、バス、店舗と幅広いジャンルに拡大しています。今年は新たな取り組みとして、いすみ鉄道で「モバイル通学定期乗車券」の販売を開始しました。今まで営業所に出向き購入する必要がありましたが、場所や時間にとらわれることなく、自分のスマートフォンからキャッシュレスで定期券を購入できるようになりました。今後もモバイルチケットのジャンルと事業者・券種数を拡大していきます。

いすみ鉄道「モバイル通学定期乗車券」



2024年12月時点では販売を終了しているものもございます。

『総務・人事・経理Week 春』に初出展

5月8日～5月10日に東京ビッグサイトで開催された『総務・人事・経理Week 春』に初出展しました。通勤費管理システム（『乗換案内 Biz』）をはじめとしたジョルダンのバックオフィス系サービスの紹介をベースに、アライアンス企業との連携による業務領域の拡張性、AIを活用した「旅費・通勤費業務の未来像」について展示を実施。関連業務における「効率化・負担軽減・利便性拡大」のソリューションを提案しました。当社のシステムを活用したバックオフィス業務の効率性と拡張性について、多くの方に知っていただくことができました。



スマートフォン向け「乗換案内」のご紹介



「ジョルダン」(スマートフォンサイト)
<https://www.jorudan.co.jp/>



「乗換案内」(アプリ) ※ダウンロード無料



アプリ内課金 (税込)

1ヶ月 (自動更新) : 360円
90日 : 1,000円
365日 : 2,900円

公式SNSアカウントのご紹介

乗換案内の機能紹介、開発裏話などの記事を掲載



https://note.com/jorudan_web/



乗換案内の最新情報、お知らせなどを発信!



@norikae_app

https://x.com/norikae_app



会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 ジョルダン株式会社
(Jorudan Co.,Ltd.)
本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10
設立 1979年12月
資本金 2億7,737万5,000円
従業員数 連結186名、単体145名

主要な子会社 (2024年9月30日現在)

コンパスティビー株式会社

事業内容: 広告代理業

ゼストプロ株式会社

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

イーツアー株式会社

事業内容: インターネットによる旅行商品の販売

株式会社悟空出版

事業内容: 出版業

株式会社ジェイフロンティア

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

J MaaS株式会社

事業内容: ICTを活用した移動手段の手配・販売・提供サービス

若尔丹 (上海) 軟件開發有限公司

事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

杰昱 (上海) 信息技術有限公司

事業内容: ハードウェアの販売・保守

株主優待のご案内 乗換案内PREMIUM (株主優待版)

対象になる株主様は?

・9月末と3月末に当社株式100株以上お持ちの方

いつ届くの? いつから使えるの?

・12月末お届け (翌年1月1日~6月30日の間有効)
・6月末お届け (7月1日~12月31日の間有効)

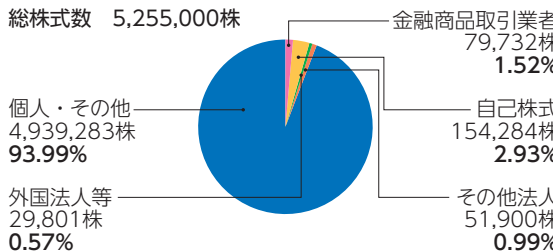
どんな機能が使えるの?

・PCで無料版にはない多彩な経路検索
・スマートフォン向け有料サービスも利用可能

株式状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数..... 19,000,000株
発行済株式総数..... 5,255,000株
株主数..... 5,245名

所有者別株式分布状況 (2024年9月30日現在)



株主メモ

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
- 定時株主総会 毎年12月
- 基準日 毎年9月30日
- 配当金受領株主確定日 9月30日及び中間配当を実施する場合は3月31日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.jorudan.co.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部